

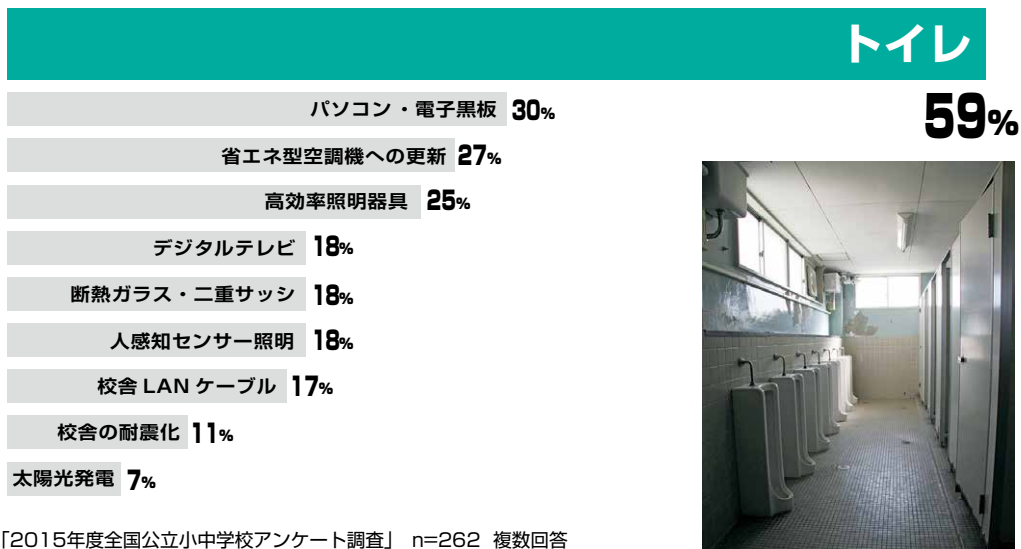
学校トイレの現状と目指す姿

現場視点での最優先議題はトイレです。適切な改修と清掃メンテナンスにより、確実に環境改善が図れ、子どもたちの健康障害も大幅に改善できます。

改善が必要と思われる場所の第一位がトイレ

全国公立小中学校教職員の皆さんに聞きました。

Q
学校で児童・生徒のために改善が必要と思われるのはどこですか？



優れた空間設備と清掃メンテナンス体制、そして教育の3つが適切に連動した時、学校トイレは子どもたちと地域の新たな財産に生まれ変わります。



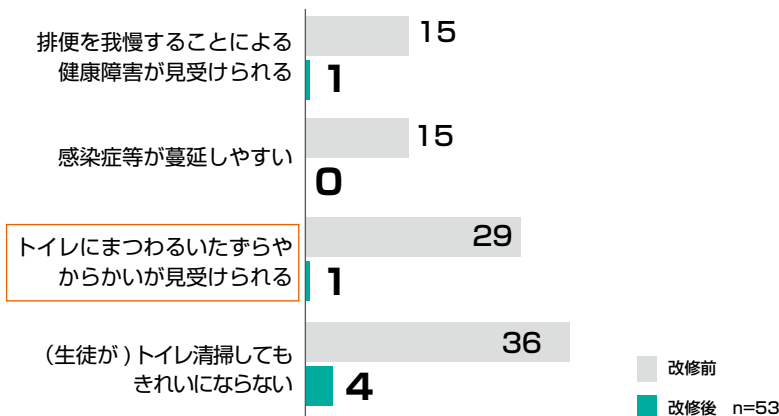
適切な改修を実施すれば必ず改善される！

トイレを改修したら子どもたちの健康や生活を改善できるのか？

改修前後の教職員の声

2015年10月にトイレ改修を実施した中学校でアンケート調査しました！

Q. 改修前後それぞれの生徒の様子をお聞かせください。



さいたま市立内谷中学校のトイレ改修前後



改修前



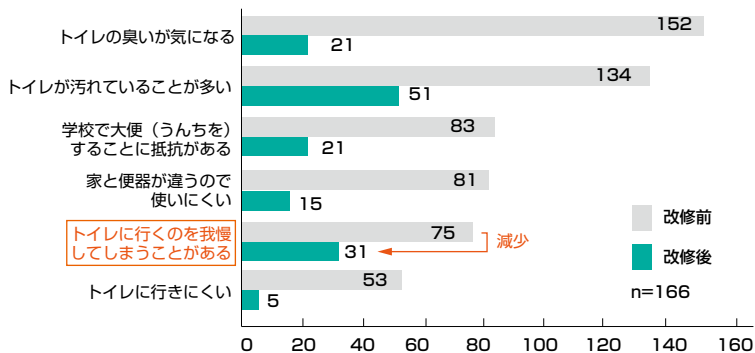
改修後

さいたま市立内谷中学校(※)トイレ改修前後アンケート(教職員53名) 学校のトイレ研究会調査(2016年1月実施)
※2015年10月、一部トイレ改修実施校

大便をするとからかわれる？ 子どもたちの深層心理は？

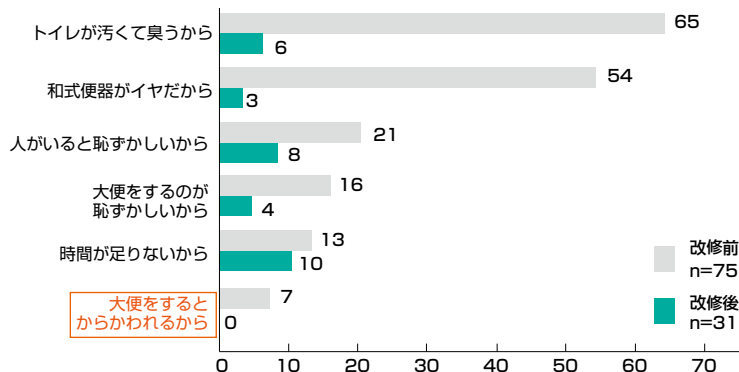
改修前後の子どもたちの声

Q1. トイレについてあなたが普段感じていることは？



男子トイレでは、大便ブースに入るとからかわれてしまうという昔からの風習？は今でもあります。「キレイに改修しても、所詮気の弱い子はトイレに行けないのでは？」という声もあります。しかしそれは違います。左下のグラフをご覧ください。トイレに行くことを我慢してしまう理由の大多数は、汚くて臭うからと和式便器だからなのです。そして注目すべきは**大便をするとからかわれる7人が、改修後に0人になっていることです**。あまりに汚いトイレのイメージが、子どもたちのコミュニケーションにまで、陰湿なイメージを与えているのです。子どもたちは大人と違ってトイレを選ばません。その気持ちに寄り添った計画検討こそが全ての原点です。

Q2.Q1で「トイレに行くのを我慢してしまうことがある」と答えた児童に聞きました。



改修前



改修後



和泉市立伯太小学校トイレ改修前後アンケート調査 2010年7月(改修前)
2010年11月(改修後)実施対象：5、6年生166名(男子82名、女子84名)